

## 登山用ロープの検査マニュアル

制定 平成12年10月1日  
財団法人製品安全協会

### 安全性品質

#### 1.認定基準

- (1) 「その他の欠点がなく」とは、糸抜け、糸ゆるみ、キンクがないことをと、及び外皮が芯を均一に覆い、かつ、密着していること。
- (2) 「仕上げが良好であること」とは、末端の処理が行われ、糸のほつれがないこと等をいう。

#### 1.基準確認方法

- ・ 「目視等により確認すること」とは、目視及び触感により確認することをいう。

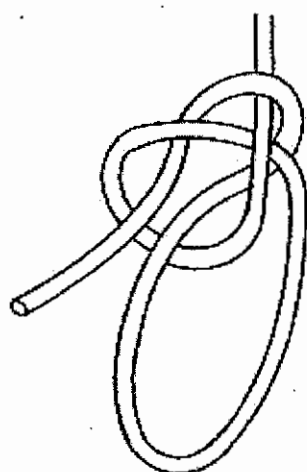
#### 2.認定基準

- ・ 「切断」とは、ロープが完全に切断したことをいい、外皮又は芯糸のみの切断については、切断とは解釈しない。

#### 2.基準確認方法

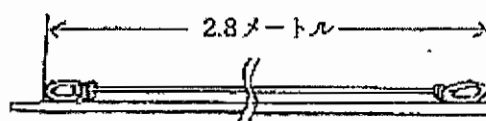
- (1) 「有効長さ」とは、試料の一端を固定点に原則として図1に示すブーリン結びで結びつけ、かつ、試料の他端におもりをブーリン結びで結びつけたとき、図2に示すそれぞれの結び目の外側から外側までの長さをいう。

図1 結び方



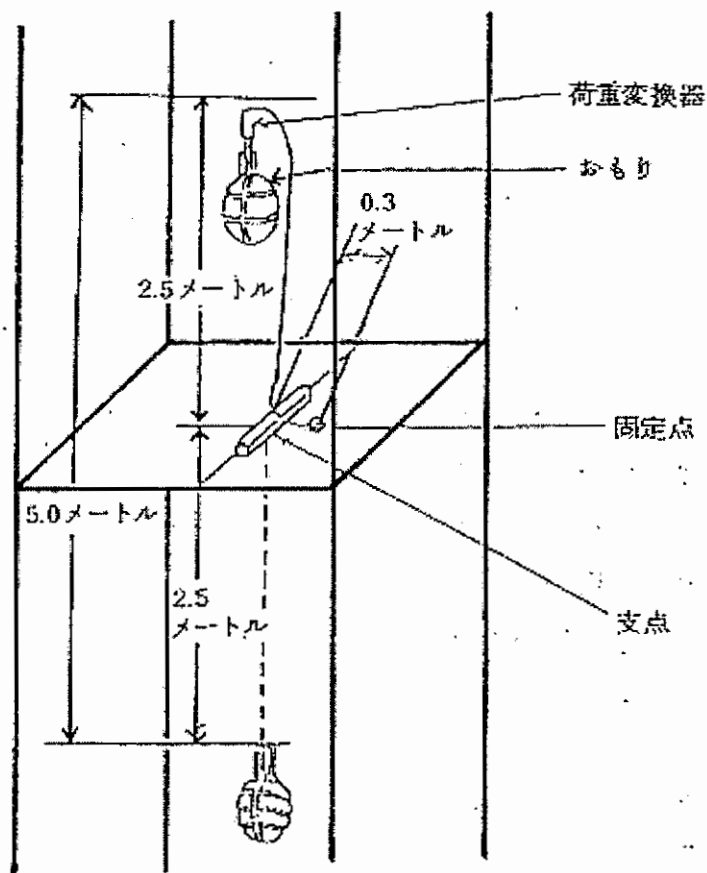
ブーリン結び

図2 有効長測定点



- (2) 「一端を固定し、所定の支点の上方 2.5m の高さから、Ⅲ表示及び取扱説明書の 1(8) の表示のあるものにあつては、ロープの先端につるした 55kg のおもりを、その他のものにあつては、ロープの先端につるした 80kg のおもりを自然落下させ」とは、図 3 に示す方法等をいう。この場合において、荷重変換器を試料とおもりの間に取り付けたときは、おもりの重さは荷重変換器及びつり環等、測定に必要な附属品の質量を加えたものとする。

図 3 衝撃試験装置の参考例



- (3) 「オシログラフによりロープの衝撃力を確認すること」とは、荷重変換器、動ひずみ測定器及び電磁オシログラフとの組合せにより荷重を測定し、記録計により確認することをいう。

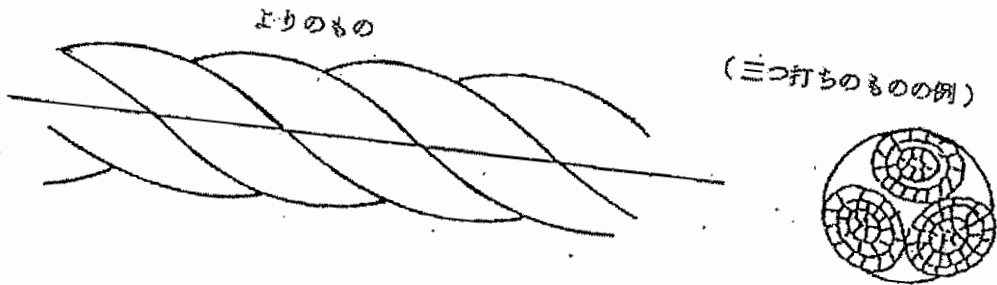
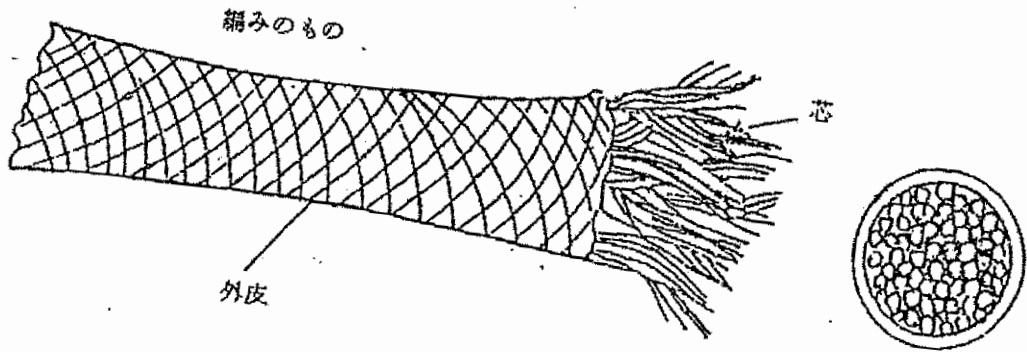
表示及び取扱説明書

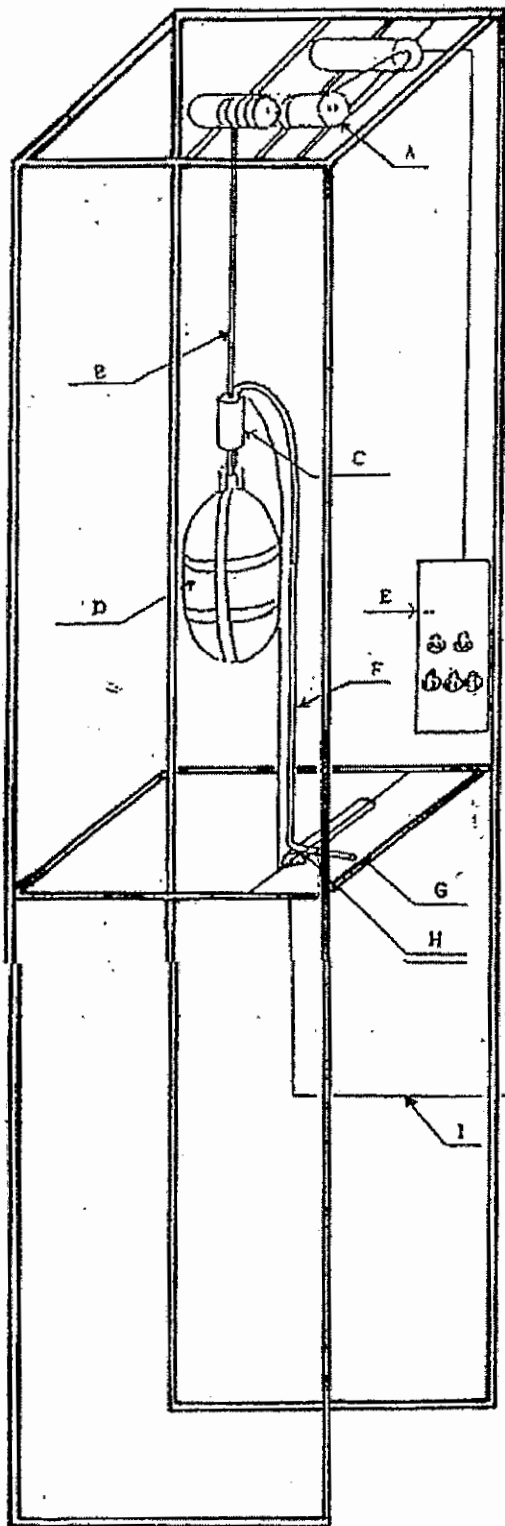
1. 認定基準

表示は、読みやすく、容易に理解できること。

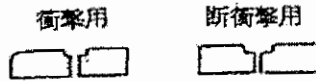
(参考)

(1) ロープの名称





- A : 荷重機上装置
- B : 荷重捲上用ロープ
- C : 荷重変換器
- D : 荷 重 ( 80 kg又は55 kg )
- E : 荷重捲上装置制御盤
- F : 試料ザイル
- G : 試料固着用具
- H : 支 点 ( ステンレス製 )



- I : ケーブ
- J : 動ひずみ測定器
- K : 直記式電磁オシログラフ

